

# 文化的景観通信 R8年春号(第1号)

発行：豊後大野市教育委員会

令和5年(2023)3月20日に緒方川の兩岸の平地に広がる水田や丘陵地に広がる棚田の景観が、そこに住む人々の生活や生業の変遷を見ることができる景観として、国の重要文化的景観に選定されました。

そもそも「文化的景観」とは一体何なのでしょう？端的に言えば、目の前に広がる風景と、その風景が、人々の生活や生業を営む中で、どういった経過を経て形づくられたのかという変化の過程も含めた景観を表します。

今年度より、多くの方に文化的景観という文化財を知ってもらおうべく、「文化的景観通信」を発行します。ぜひ、この通信をきっかけに現地を訪れ、何気なく見過ごしている景観を改めて感じ取ってください。

## 重要な構成要素「二宮八幡社参道橋」補修工事

重要文化的景観「緒方川と緒方盆地の農村景観」には、景観を特徴づける様々な建造物があります。例えば、井路はもちろんのこと、石橋や磨崖仏、神社などが該当します。その1つでもある「二宮八幡社参道橋」を令和7年度に補修しました。



この橋は原尻古井路にかかる石橋で、江戸時代に架けられたものと伝えられています。石橋を支えていた鉄製の支柱が劣化し、支えが効かなくなったことで、石橋本体が崩れる可能性があったために実施しました。

今後、数回に分けて、その模様をお伝えしていきます。めったに見ることのできない石橋の補修です。どんな工程で進んでいったのか、ご紹介します。

### 二宮八幡社参道橋補修工事

施主：原尻区 施工：(有)光徳石材

工期：R8.10.1～12.3

## (1) 支保工用型枠取り

劣化した鉄製の支柱や木板を撤去したあと、石橋内側の清掃を行いました。

清掃の後、石橋を支える支保工を設置するための位置決め

や型枠取りを行った施工業者は、石橋アーチ部の中心にズレがないと感嘆していました。

(2) 石橋清掃を次号にて紹介します。



## ★「緒方川と緒方盆地の農村景観」春の風景

原尻の滝周辺では色とりどりのチューリップが咲き誇り、地区民総出で井路普請をして田植えの時期を迎えます。



## 重要文化的景観

### 「緒方川と緒方盆地の農村景観」エンブレム



このエンブレムは、約9万年の時をかけて形づくられた原尻の滝と、盆地底に広がる平地に、緒方川から引水し開削した井路によって開かれた水田で実る稲穂をコンセプトに、緒方町在住の工藤穰くん(作成当時中学3年生)がデザインしました。

## 編集後記

今年度から季刊誌として、その季節に応じた風景を皆様にお伝えしていこうと思います。

そこで、編集者からのお願いです。重要文化的景観で見ることができる、「他の人にも知ってもらいたい」そんな季節がわかる写真をぜひお寄せいただけないでしょうか？

お寄せいただいた写真を今後の紙面で使わせていただければと考えています。御協力お願いいたします。

なお、送り先は社会教育課文化財係あてメール bo260060@city.bungoono.lg.jp までお願いいたします。

# 国選定重要文化的景観「緒方川と緒方盆地の農村景観」選定範囲

